

令和8年度学校経営計画書

新見市立新見南小学校

○本校のミッション（使命、存在意義）

- 新見南小学校児童の未来を保護者・地域と共に創る。
- 児童の未来創造のために学校・地域・家庭が協働し、教育活動を推進する。
- 急速な社会変化に対応できる児童の「生きる力」を創造する。

○内外の環境分析

- ◆内部環境（＋）○児童数は１３５名で、全校の顔が見える環境である。素直で明るい児童が多い。
○多くの教職員が児童に関わることで、多角的なサポートや個別最適な学習機会が可能となる。
○文部科学省GIGAスクール構想によりICT機器が充実している。また、堪能な教職員が多い。
- ◆内部環境（－）○各学年における学力の個人差が大きい。読書量や家庭学習時間の二極化が見られる。
○学級毎に、支援を必要とする児童が多く在籍する。
- ◆外部環境（＋）○豊かな自然や施設に恵まれ（石蟹山城 防災公園等）、様々な活動に生かすことができる。
○地域学校協働活動事業に積極的に取り組み、地域諸団体は学校に協力的で様々なかわり合いがある。
- ◆外部環境（－）○学区が広いため、地域の結びつきが取りにくい傾向にある。
○市街地にあり、交通安全・生活安全等に十分な配慮が必要である。
○家庭環境の厳しい児童や支援を必要とする児童が在籍する。双方への支援が必要である。

○めざす学校像

- ・良質な授業と活動を提供する学校
- ・学級経営を含めた生徒指導の充実した学校
- ・誰もが行きたくなる楽しく安心・安全な学校

○めざす教員像

- ・ 責任感と高い倫理観をもつ人間性豊かな教職員
- ・ 確かな指導力をもち、教育の専門家として学び続ける教職員
- ・ 同僚性とコミュニケーション能力を十分に発揮する教職員

○当該年度の具体的な学校経営目標・計画

【学校教育目標】

ふるさとを愛し、未来を考え、人としてたくましく生きる南っ子の育成

めざす児童像

7

な

⑦

自ら考える子（わくわく）

仲間と共感し合う子(きらきら)

未来に向かうたくましい子(いきいき)

重点目標	○ 『主体的・対話的で深い学び』のある授業の展開と継続 ○ 特別支援の視点を入れた授業づくり ○ 自己指導能力の育成	○ 共感的態度の育成 (目的意識・相手意識) ○ 生徒指導の充実 ○ 規範意識の醸成(論語を含む)	○ 未来への夢を育み、努力と挑戦を続ける たくましい子の育成 ○ 体や健康への関心の高揚 ○ 新見市ふるさとキャリア教育の推進 ○ 自己決定の場の設定
重点目標の具体・評価指標	・基礎的な知識・技能を活用する能力の育成 ・協働的な学習活動の展開 ・思考過程を大切にする授業の展開 ・GIGA スクール構想 (必要に応じた ICT 機器を活用した授業展開) ・読書の習慣化(読書週間の活用) ・特別支援教室の設置・運営 ・UD(特に視覚支援)を取り入れた授業の充実 ・自己存在感・自己肯定感を与える授業 ・自己決定を与える授業	・集会活動(人権標語・人権集会・ボランティア交流会等)の活用 ・目的意識と相手意識を大切にした活動の充実 ・共感的な人間関係を育成する集団づくり ・積極的な生徒指導面の充実 (発達支援・未然防止・個別の重要課題・チーム学校での対応) ・定期アンケート・教育相談の実施・充実 ・あいさつの励行(あいさつ運動) ・学習規律の徹底と生活習慣の定着 ・論語学習の推進	・明確な目標をもち、困難を乗り越える努力と挑戦の継続 ・食育指導・保健指導・薬物乱用防止・歯磨き指導等を活用した生活改善 ・メディアコントロールの実践 ・外遊びの励行や水泳・陸上運動の充実 ・ふるさと新見を愛するキャリア教育の充実 (地域人材の活用・地域連携) ・南中学校区こ・小・中連携 ・県の施策への参加(チャレンジランキング等) ・学習や諸活動における自己決定の場の設定

【非認知能力の育成】（教育理念） ※ 上の教育活動を支える部分

「目標に向かってがんばる力」

「人と協力して働くための力」

「感情をコントロールする力」

【教育活動を支える地域との関わり】

- 学校運営協議会（ＣＳ） 地域と共に学校づくりを推進 （説明と承認）
- 地域学校協働活動事業 ○確かな学び…読み聞かせ・学び愛活動・授業ボランティア 等
（ボランティア連絡会） ○豊かな心・関わりづくり…米づくり教室・花植え・茶道教室 等
○健康・関わりづくり…見守りボランティア・あいさつ運動 等